

**留学先国名** : アメリカ

**留学先学校名** : SUNY カレッジ・オブ・テクノロジー、アルフレッド

**留学期間** : 平成 26 年 8 月 25 日 ~ 平成 28 年 5 月 25 日

このセメスターが最後となりました。現在も寮の Housing Assistant を続けています。ペーパーワークと鍵の管理が基本的な役割なのですが、もう一つ仕事が増えました。それは Sustainability です。Sustainability とは環境などの面で持続可能なという意味で、寮の中で住人たちのゴミのリサイクルやエコフレンドリーな活動などを企画し、地球を守ることに知ってもらおうとしています。例えばゴミの分別についてのポスターを作成したりイベントの企画をします。私が企画したのは、リサイクルの競争です。各階にリサイクルボックスを設置し、一番多くペットボトルなどを集めたフロアにピザをプレゼントするというイベントです。そのイベントは成功に終わり、いつもより何倍も多い量を集めることに成功しました。

もう一つ大学内でのアルバイトといえば、インターナショナルオフィスのアシスタントです。オフィスの基本的な仕事とともにインターナショナルクラブに関わっています。インターナショナルコーディネーターがインターナショナルクラブのアドバイザーのためクラブでのイベントの企画を任されたり、リーダーシップの位置に就くようになりすごく充実しています。私が中心になって活躍したイベントはインターナショナルディナーです。来てくれた人は 150 人の生徒や大学のスタッフなどで 10 人ほどの留学生が各国の料理を作り賄いました。準備はとても大変で、いくつかのクラブとコラボレーションし、材料の調達、たくさんの人を集めるための広告などとてもすることが多く最初は焦って緊張していましたが、コーディネーターや他のクラブメンバーの助けを借りて成功に導くことができました。とてもやりがいのある仕事です。私自身、将来どんな道に進もうか常に疑問だったのが最近分かってきました。マーケティングには絶対に就こうとっていて、でもマーケティングはとても広い規模です。絞るとすれば、PR です。大学の仕事を通し、イベント企画や人と接すること、新しいアイデアを考えることすべてに楽しいと思い、その道に行こうかと考えています。

学業面については、私の学校は小さい町にあり、周りは自然ばかりですることといえば勉強くらいしかありません。この環境は勉強するのにとても適していると思います。毎日授業が終わればいつも図書館に行き、課題をしています。そのおかげで大学の Dean's List に載ることができました。Dean's List とは 4.0 満点中 GPA が 3.5 以上の人が載れるリストでそれに載ることができました。全体の成績も 3.5 をキープしています。勉強やバイトだけでなく大学にもっともっと関わることを大事にしています。そこで私は大学のイベントへ行ったりクラブに入ったりして友達を作ったりしています。例えば Emerging Pioneers Leadership Program です。リーダーシップについて考えるワークショップでチームワークなどで自分の強みなどを分析したりします。それぞれにレベルがあり、先セメスターに GOLD level が終わったので今セメスターは PIONEER Level、最後のレベルになります。先セメスターのように、グループで一つの問題やトピックを決めてそれについて大学や生徒に影響を与えるようなプロジェクトをします。今セメスターは近くの幼稚園へ行き、子供と関わり一つの芸術作品を作ろうとグループで考えています。

最初の頃どうしたら大学にもっと関われ、アメリカ人の友達ができるのかといつも考え、いつも情報を探していた記憶があります。時間がたつにつれ素敵なキャンパス内での仕事が見つかり、とても楽しく充実した学校生活になりました。アドバイスはこの前のレポートでも述べたように、日本もアメリカもそうですが、高校とは違いすべてのスケジュールを自分で決めます。クラスからバイトから自主勉強の時間まで。そのためいろんなシミュレーションをして自分に一番合ったプランを考えています。スケジュール帳かアプリでカレンダーを取ってちゃんとマネジメントをする必要があります。

これが最後のセメスターで卒業と考えるととても寂しいです。卒業後はアメリカで働こうと求人などを探しましたが2年制でちゃんとした仕事を見つけようとしてもとても難しいのでインターンシップを見つけられたらと思っています。インターンシップで本当の職場を見て、学んで、アウトプットし、その後日本でロンドン大学のオンラインコースを取り4年制の学位を取得しようと計画しています。結果的にはキャリアアップのためにマスターまで取得したいと思っています。先ほどいったように将来したいことは何となくわかってきて、その夢を必死で掴むのみです。